



3校合同でリモート英語学習



12月20日、長屋・川畑・内山田小学校の5・6年生が、リモートを活用し合同で英語の授業を行いました。少人数校出身の児童も、大人数となる中学校で尻込みせず相手に伝える練習も兼ねており、画面越しに楽しそうに英語で質問を投げかけ合うなど、教室は笑顔と笑い声にあふれていました。長屋小学校の友野千虎さん(6年生)は「来年中学生になったらみんな同級生。早く友達になりたい」と話しました。

祖国へ本市の魅力を発信



12月25日、本市の外国人技能実習生を対象とした市内モニターツアーがあり、亀ヶ丘などの観光地を巡ったほか、餅つきを教わるなど地域住民との交流を行いました。SNSを通じて海外の家族や知人へ誘客を促す目的と、地域に愛着を深め癒されて欲しいという願いから市が企画したもので、参加したベトナム出身のグエン・ティ・トウイ・ユオンさんは「コロナで外出を控えていたので、貴重な体験ができたことに感謝です」と話しました。

鬼火焚きで無病息災を願う



1月8日、川畑校区で2年ぶりに鬼火焚きが行われました。鬼火焚きは、正月の七日前後に竹などで組んだやぐらを焼いて、正月飾りについて悪霊を追い払う鹿児島県の伝統行事です。通常であれば、鬼火焚きの残り火で餅を焼いて食べますが、新型コロナウイルス感染症予防のため参加者には袋に入った餅が配られました。初めて参加したという川畑小学校の玉利綾蘭さん(5年生)は「竹が破裂する音にびっくりした。今年1年を怪我無く元気に過ごしたい」と話しました。

かごしま国体へカウントダウン



1月4日、市役所エントランスホールに2023「燃ゆる感動かごしま国体」のカウントダウンボードが設置されました。株式会社エルムから寄贈されたもので、令和5年10月7日までカウントダウンを続けるモニターには、本市の季節ごとの画像も映し出されます。南さつま市では、サッカー競技(少年男子)とスポーツクライミング競技(ボルダリング、リード)、2つの競技が開催されます。